

「露地栽培アガリクス KA21 株の免疫増強・抗がん剤の副作用軽減効果」

東栄新薬株式会社 代表取締役 元井 章 智

1. はじめに

アガリクスとはブラジル原産の薬用キノコ = *Agaricus brasiliensis* (シノニムとして *A. subrufescens*, *A. blazei*) のことを指し、日本ではヒメマツタケ等の名称でも知られている 1-2)。ガン患者を対象とした健康食品やサプリメントとして使用されており、現在では、アガリクスは「菌株、栽培条件や産地により、その特性や含有成分が異なる」ことが広く認識されている。

2. アガリクスの栽培方法による有効成分などの違い

アガリクスの主な栽培方法は、天然に最も近いとされる露地栽培アガリクスと、一般的なハウス栽培、菌糸体のタンク培養の 3 種類がある。太陽光を浴びながら苛酷な自然環境を生き抜いた露地栽培アガリクスは、一般的なハウス栽培と比較すると、サイズは大きく、アガリクスの主成分である β -グルカン は 1.5 倍、ビタミン D は 24 倍、カルシウムや鉄分などの栄養素を豊富に含む。また、抗酸化活性も露地栽培アガリクスの方が 2~5 倍強いことが確認されている 3~5)。

3. アガリクスの有効性に関するデータ

露地栽培アガリクス KA21 株 (以下、KA21) に関する主だった研究成果である免疫増強メカニズムと NK 細胞活性化 3)、抗がん剤の副作用軽減作用 6) のほか、最新研究成果を紹介する。

3.1 免疫増強メカニズムと NK 細胞活性化

健常人が KA21 を 1 日 3g、1 週間経口摂取し、NK 細胞の有意な活性化が確認された 3)。本データと併せ、「なぜ、アガリクスが免疫力を活性化するのか」について紹介する。

3.2 抗がん剤の副作用軽減作用

抗がん剤の副作用発現モデルマウスを対象に、KA21 を給与した結果、脱毛の抑制、白血球減少症からの回復、体重減少からの回復、食欲低下からの回復、消化管傷害の抑制、腎障害の保護作用を確認した 6)。

4. おわりに

がん統合医療用サプリメントとして注目を浴びる、アガリクスの特徴、栽培の方法による違い、KA21 のエビデンスについて紹介してきた。今後も、健康にお悩みを抱える方のお役に立てるよう、KA21 の有効性に関する研究開発を継続していきたいと思う。

引用文献

- 1) S.P.Wasser et al., Int J Med Mushrooms, 4, 267-290 (2002)
- 2) R.W.Kerrigan et al., Mycologia, 97, 12-24 (2005)
- 3) Y.Liu et al., Evid Based Complement Alternat Med, 5, 205-219 (2008)
- 4) D.Yamanaka et al., BMC Complement Altern Med, 14, 454 (2014)
- 5) N.Ohno et al., Pharm Pharmacol Lett, 11, 87-90 (2001)
- 6) K.Tajima et al Int J Med Mushrooms. 2019033173